

まえがき（著者 マリー・ルウの想い）

このたびは、私の本をご購入、お手にとつてくださり、誠にありがとうございました。

しばらく、私の話を聞いてくださいね。

お手紙のように、書いて参りたいと思います。

まさか、今回、また、書籍を執筆することになるとは、考えておらず、正直驚いていました。

以前私は、2011年1月に、文芸社より『マリー♡ルウのなりたい女性になるための魔法のぬりえ』という書籍なのですが、ぬりえができる読者参加型の自己啓発系の書籍を出版刊行しておりました。

それは、女性に向けて自己啓発を簡単にできる方法として、ぬりえを起用し、占い鑑定の体験談も書き添え、今まで世になかった書籍を出版しました。

しかし、あの2011年にはご存じのように、東日本大震災が3月にあり、私がせっかく出版したばかりの本は、一番届けたかった東北の方々の書店には流通が困難になり、書店が被災されたりしました。出版して間もなく起こった出来事でした。

あれで、多少影響はあったのかもしれませんが、東北の方々は震災があっても、私の本を楽しみにしていただき、直接連絡いただいた方には本を個別に送っていたのです。

私が占い師として所属していた、開運館E&Eという占いの会社で、仙台にある駅前のデパートのブースに出ていたころ、いつかは私も出版しようと決めたのが2005年ごろでしたから、実際に、『マリー♡ルウのなりたいたい女性になるための魔法のぬりえ』が出版刊行となったのは、それから6年後だということになります。

その6年の間にはいろんなトラブルなどもあり、文章だけなら私一人で書けますが、ぬりえを付けるために、いろんなイラストレーターに会ったり交渉したり、出版会社も初めは別の知人が社長をしている個人の出版会社から出版するという話があったのですが、その出版会社も倒産されたり、まあ、いろいろあったわけで、いつの間にか、文芸社と出会い、刊行するまでは、6年間もかかってしまったんでしょうね。

そんななか、こちらの新しい企画の営業さんから、私のいろんな経歴をインターネットから調べ、見たところ、ぜひ、恋愛や結婚についての課題で、執筆してもらえないだろうか？ と、お話をいただいたのです。

冒頭にもあるように、私はもう二度と書籍の執筆はしないだろうと、思っていたのと、また題目が

恋愛や結婚となると、以前書いた書籍と比べて、ちょっと遠ざかる内容かな？ と、リクエストされた課題に対し、興味もなかったのは事実でした。

しかし、私に話を持ってきた、若いその営業の方は、よく、私の経歴を調べて、見ているなあ。と、感心し、うれしく思いました。

頼まれたら断りに弱い私でもありますが、例えば、瀬戸内寂聴さんや、美輪明宏さんのように、私もそろそろ、歳を重ね、人生を語る歳になってきたのかな？ と、このような、恋愛や結婚について書くのも、試みとしては面白いかもしれないと、思うようになり、お引き受けしたのでした。

いろんな考え方はあると思いますが、毎日たくさんの方の恋愛や結婚について、相談を受ける占いスピリチュアルカウンセラーとして、書いていることに対し、どうか、緩やかに、お読みくださるよう、よろしくお願い申し上げます。

また、個別のご質問、ご相談がございましたら、末のページにある連絡先のほうへ、ご連絡くださいましたら、と思いますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

さあ、無計画に、私の中から勝手に出てくる言葉たちがどのような文章を繰り広げていくのか？ 私自身もわかりませんが、どうぞ最後まで楽しみにお読みくださいませ。

2023年1月吉日